

2021年8月4日
株式会社トクヤマ

大規模水素供給・利活用モデル（周南モデル）の構築と
定量化に関する調査の開始について

株式会社トクヤマは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（理事長：石塚 博昭 以下、「NEDO」）による「水素社会構築技術開発事業／地域水素利活用技術開発／水素製造・利活用ポテンシャル調査」の枠組みにおいて、「副生水素等による大規模水素供給・利活用モデル（周南モデル）の構築と定量化に関する調査」（以下、「本調査」）を株式会社テクノバ（本社：東京都千代田区、代表取締役：江口 勝彦 以下、「テクノバ」）とともに受託しましたのでお知らせします。

本調査では、水素社会の実現に向けて、周南コンビナートと周辺都市、および山口県内コンビナート地区を対象に、①水素利活用トータルシステムの調査、②国内における海外水素の大規模受入基地に関する可能性調査、および③水素展開の評価とシナリオ策定を、2021年度から2022年度にかけて行います。

本調査の特徴は、トクヤマとテクノバだけではなく、広く地域の企業・組織・行政機関へ調査協力依頼を行い、トクヤマも参画する周南市の「周南市水素利活用協議会」や山口県の「分散型エネルギー活用検討会」とも連携を行うことにより、地域全体の脱炭素化モデルの構築を狙うものです。

トクヤマは、中期経営計画2025で掲げた2050年度カーボンニュートラル実現にむけて、苛性ソーダ製造工程で発生する副生水素の利活用を推進し、持続可能な社会構築に貢献してまいります。

記

1. 名称：副生水素等による大規模水素供給・利活用モデル（周南モデル）の構築と定量化に関する調査
2. 目的：
 - ・ 過去の実証事業の成果を土台とした展開の面的拡大
 - ・ エネルギー多消費産業の脱炭素のためのロールモデルの確立
 - ・ 2050年を見越した中国・四国・北部九州エリアでの水素供給モデルの構築
 - ・ カーボンニュートラルポートとの連携
 - ・ 水素による新規産業振興育成のモデル提案

3. 調査概要：

①水素利活用トータルシステム調査

周南コンビナートで発生する副生水素等を活用した大規模水素供給・利活用モデル（周南モデル）の実現可能性を調査する

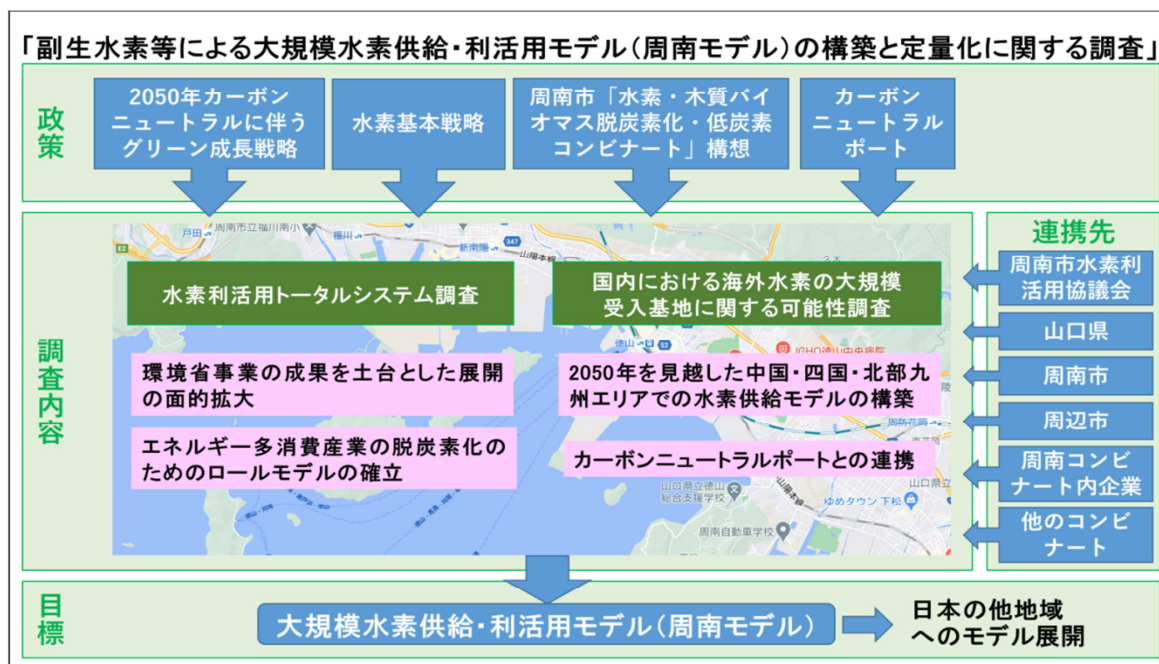
②国内における海外水素の大規模受入基地に関する可能性調査

将来において、周南コンビナートに商用規模で陸揚げされ、周南市や瀬戸内海周辺・北部九州地域への輸送を想定した、海外水素の大規模受入基地の構築に関する可能性を調査する

③水素展開の評価とシナリオ策定

上記の分析・調査を通じて、周南コンビナート・周辺地域における水素展開を特定し、総合評価とシナリオ策定を行う

4. イメージ図



《本件に関する問い合わせ先》

株式会社トクヤマ広報・IR グループ

(東京) 03-5207-2552